

虐待被害等により単身生活を余儀なくされた生活困窮大学生等の支援制度
の創設及び生活保護制度の柔軟な運用を求める要望概要について

1. 要望日時 : 令和4年(2022年)1月28日(金)
2. 要望先 : 厚生労働省
3. 要望者 : 横須賀市長
4. 要望の概要 : 別紙要望書参照
5. 要望時の発言等

◎厚生労働省 島村厚生労働大臣政務官
(発言要旨)

生活保護制度は最後のセーフティネットであり、国民に理解と信頼をいただく必要がある。

本当に必要な方に、給付型奨学金をはじめとする支援制度が、しっかりと届くことが重要である。

文部科学省とも連携したワンストップの支援制度ができないか検討してみたい。